



バレーボールのプロチームが中学生を指導



7月7日(土)、市民総合体育館で市内中学校の女子バレーボール部員103人が、社会人バレーボールのV・プレミアリーグ男子に参戦している「ジェイテクトSTINGS」(愛知県刈谷市)の選手6人から指導を受けました。

この教室は、市内にチームの運営企業の事業場があることから実現したものです。コートでは、レシーブ、トス、スパイクなどの練習に続き、選手とのマッチゲームも行われました。

終了後に選手から「繰り返し練習することが大切。今日のアドバイスを自分のものにして下さい」と声を掛けると、生徒からは「スパイクの練習が難しかった」「もっと強くなりたい」などの感想が聞かれました。トップレベルの選手から直接指導を受けたことで、バレーボールの楽しさをより実感したようでした。



奥富小学校・トウモロコシの皮むきを体験

7月11日(水)、奥富小学校の2年生56人が市内で採れたトウモロコシの皮むきを体験しました。



今が旬で、家庭の食卓に並ぶことの多いトウモロコシですが、皮むきをしたことのある児童は半数ほど。学校給食センターの栄養士にむき方を教わった児童たちは、一枚一枚ていねいに皮をむいていました。そして最後に、トウモロコシの先端から出ている「ひげ」は雌しべであることや、その本数が中身の粒の数と同じことを学びました。

トウモロコシは給食の献立にのぼり、全校児童でおいしくいただきました。

昆虫の王様に興味津々

7月15日(日) / カブトムシ観察会(入曽地区)

武蔵野の面影を残す「水野の森里山」に親子93人が集合。落ち葉の堆肥の中から探したカブトムシで、木登り競争を行うなど、夏の里山遊びを満喫しました。



飛ばせロケット 遠くまで!

7月22日(日) / JAXAコスミックカレッジ(産業労働センター)

空気を入れた細長いポリ袋をロケットに見立てて飛ばす体験教室。子ども達は、尾翼の位置や重りの調整で、高く遠くまで飛ばすことを学びました。



29年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の修了生がお届けします さやま・レポート 狭山ステキ発見④



今月は、入間川地区の2本の樹木を紹介します。

一つ目は、市役所の北側に立つ「ユズリハ」です。その名は、新しい葉が伸びてから、それに譲るように古い葉が散ることに由来し、絶えることなく続く縁起のよい木と言われています。市役所が建つこの場所には、かつて埼玉県園芸試験場入間川支部の建物がありました。ユズリハは、その当時からあったもので、支部が移転した後、建物は撤去されましたが、この地の変遷を見続ける樹木として残されました。

二つ目は、狭山郵便局の正面玄関前に立つ、「タラヨウ」です。葉の裏面に文字を刻むと、そこが黒く変色し文字が浮かび上がることから、「葉書の木」とも呼ばれています。狭山郵便局では、平成10年の通信記念日(4月20日、現郵政記念日)に一日局長として樋口恵子現東京家政大学名誉教授を招き、植樹したものです。

両所を訪れた際は、ぜひご覧ください。



◆狭山郵便局
所在地富士見1-15-32 ☎2959-3401

夏に簡単! スタミナ料理

7月10日(火) / 男の料理教室(狭山台公民館)

ブリの照り焼きやカボチャと鶏の煮物など、短時間で簡単にできて、夏バテ予防に効果的な4品を調理。日本と諸外国の食文化やマナーなども学んだ参加者7人は、食に対する知識を深めていきました。



参加者同士協力しながら、手際よく調理します

市民の力作が一堂に集う

6月27日(水)~7月2日(月) / 狭山市民展(市民交流センター)

絵画や写真、書、工芸など、作者の思いが込められた作品241点が会場を飾りました。市内在住のオーロラ写真家・田中雅美氏の作品展示やトークショーも開催され、広く芸術文化に親しむ機会となりました。



オーロラの美しさや自然の厳しさを、映像を交えて熱く語る田中氏

冷たい狭山茶冷茶でおもてなし

7月23・24日(月・火) / 七夕コーナー冷茶接待(市役所)

市役所を訪れた方々に、浴衣姿の大学生が、七夕まつりのPRに合わせ、水出しの煎茶とほうじ茶を振る舞いました。訪れた方は狭山茶冷茶で一息ついた後、コーナーに展示した竹飾りに短冊を飾り付け、一足早く七夕まつりの雰囲気を楽しみました。



渋みが少なく旨味たっぷりの水出し狭山茶は、暑い夏におすすめ



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

大人も子どもも楽しめる鉄道展

6月30日(土)~9月2日(日) / ほくらの狭山を走れ / 鉄道展(博物館)

狭山の街並みをイメージしたジオラマや、記念乗車券、旧入間川駅(現狭山市駅)の行先表示板など貴重な品々を展示。地域の発展に寄与してきた鉄道の歴史を紐解きます。精巧なジオラマと、その中を走る鉄道模型に、子ども達は目を奪われていました。



手作りのジオラマには狭山市駅や七夕まつりなども再現

ふるさと狭山の夏祭り

7月上旬~中旬 / 天王さま(各地区)

多くの地区で天王さまのお祭りが行われました。天王さまとは、荒っぼい神様の牛頭天王のことで、疫病や災害を追い払ってくれると言われています。かき氷や焼きそばを楽しみに集まった子ども達。盆踊りの輪も広がり、地域の絆が深まりました。



八雲神社(下奥富)の天王さま
じくち 地口(あんどん)のきれいな絵がお披露目されました▲